



(第9期) 第12回まつもと子ども未来委員会の報告

12月10日(日)に勤労者福祉センターでまつもと子ども未来委員会を行いました。
この日は、委員18人と大学生サポーター2人が参加しました。

- 1 「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムについて
来年の2月10～11日に東京都小金井市で開催されるシンポジウムの第4分科会(子ども参加)に、まつもと子ども未来委員会が参加することになりました。
分科会では、委員会活動の報告、委員会の意義や課題等に関する意見交換会などが行われます。シンポジウムの参加者(3人)は、次回1月14日の委員会で決定します。

2 市への提言の振り返り

「松本子どもの権利の日」市民フォーラムで行った、市への提言の振り返りをしました。個人とグループ・全体の視点で、良かった点、反省点を話し合いました。

良かった点

【個人】

- ・大人の前で意見を言う経験ができて良かった ・前を見て発表できた
- ・意見をたくさん出せた ・大きな声で発表できた ・原稿をそれぞれ工夫して読めた

【グループ・全体】

- ・提言に関係するアンケートを取ることができた ・わかりやすいスライドを作れた

反省点

【個人】

- ・自分の意見を言えるようになりたい ・早口で原稿を読んてしまった

【グループ・全体】

- ・メンバーが全員集まることが1回しかなかった ・発表の時間が短かった
- ・他のグループが発表している時の態度が悪い(おしゃべり、キョロキョロ、いねむり)



3 今後の活動について

市長、教育長のコメントを聞いて感じたこと、来年度、未来委員会でどのように活動していきたいかについて話し合いました。

グループ	市長、教育長のコメントを聞いて感じたこと
生活の改善 (校則)	・前向きにとらえてくれていると思った。
生活の改善 (通学路)	・提言した内容を実現するには、今の仕組みでは難しいところもあるが、市長、教育長が話していた活動もやってみたい。
自然の保護 (里山の保全)	・子ども目線の活動も大切だということに気付かせてもらって良かった。
ボランティア (ゴミ関係)	・ゴミ箱を設置することは、良いことばかりではないことを知った。 ・みんながゴミを拾いたくなるようなボランティアの方法を考えたい。
PR	・提言をするための委員会になっているのではと感じた。

グループ	来年度、未来委員会でどのように活動していきたいか
生活の改善 (校則)	・学校生活の改善に関する活動をしたい。 ・提言を受けて、取り組みはじめたことや、検討している内容を共有する機会を2、3月に開いてほしい。
生活の改善 (通学路)	・継続して活動したい。 ・提言した内容を実際に行ってみたい。 ・市の取り組みをしっかりと調べたい。
自然の保護 (里山の保全)	・周りを良くできるような活動を積極的に行いたい。 ・人前で話すことに緊張しないようにしたい。
ボランティア (ゴミ関係)	・ゴミの全体量を減らすためにはどうしたら良いか考えたい。 ・清掃活動に参加したい。
PR	・書記や統括委員長（複数年経験者）を決めて体制をしっかりとる。 ・1年周期をやめる。 ・オリエンテーションなどで話し合いの方法を学習する。

- ※ 次回、1月14日の委員会では、次期未来委員会のことについて話し合います。
未来委員会の活動をどのようにしていきたいか、各自考えてきてください。
(活動期間を2年にする、新たな提言はやめて、これまで提言してきたことを行う、
書記や統括委員長、グループの班長を決める など)